

Quick Start Guide

はじめに

このたびは LS2208 バーコードスキャナーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。本スキャナーはレーザー光を利用した高性能でコンパクトなバーコードスキャナーです。レーザー光を使用していますので安全には充分ご注意ください。また、本マニュアルは 特定のアプリケーションに対して用意されており、日本シンボルテクノロジー社のマニュアルを抜粋したものですので必ず、同社の本紙を参照下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやTV受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本書の全ての権利は、日本シンボルテクノロジー株式会社に帰属しており、本書の内容の一部または全部を文書による許可を受けることなく複製、転載することは禁止されています。

日本シンボルテクノロジー株式会社は、この装置を提供、使用することに付随して、または結果として起こる損害に対するいかなる責任も負いませんので予めご了承下さい。

この取扱い説明書および仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

安全に関するご注意

LS2200/2208バーコードスキャナーは、CDRH ClassII、IEC Class 2 レーザ製品に準拠した製品です。ご使用に際しては、次の点にご注意下さい。

- 正面の窓をのぞきこまないでください。正面の窓からレーザー光が出ます。目に障害を与える危険性があります。
- 人の目に向けてレーザー光を出させないでください。目に障害を与える危険性があります。
- 分解など機器の取り外しは行わないでください。分解時にもレーザー光がでます。LS2200/2208バーコードスキャナーは内部保守の必要がないように設計されています。

LS2200/2208バーコードスキャナーは、専用のACアダプターと組み合わせてお使いください。ACアダプターは、水で濡れないようにしてお使いください。

スキャナーのセットアップ

LS2208 スキャナーは、非常に優れたスキャンパフォーマンスと高度な人間工学に基づいたデザインを兼ね備えた軽量のスキャナーです。ハンドヘルドとスタンドを使ったハンズフリーの両モードで使用でき、簡単操作で長時間使用しても疲れません。

スキャナーの各部



図 2-1. スキャナーの各部

スキャナーの取出し箱などからスキャナーを取り出し損傷していないかを確認します。配送中にスキャナーが損傷した場合は、代理店までご連絡下さい。箱は保管して置いてください。センドバックが必要なときにご利用いただけます。

スキャナーIDラベル および

インターフェイスケーブルの接続

インターフェイスは USB/ キーボードインターフェイス/RS232 の3種類が利用できます。それぞれ専用ケーブルをつける必要があります。

ここでは、USB/PS/2 について記載しますので他の接続の際は代理店にお問合せ下さい。

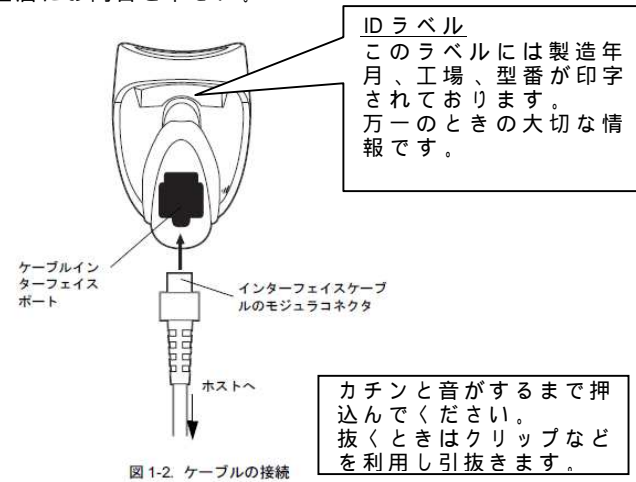
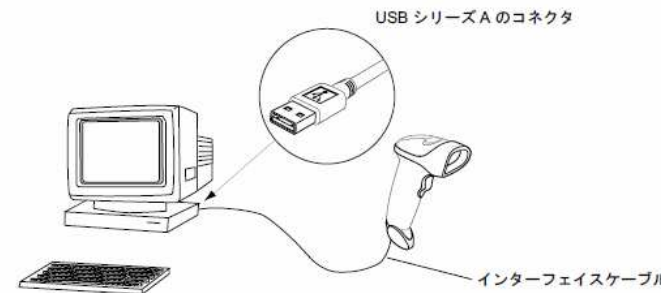


図 1-2. ケーブルの接続

注意!

USB インターフェイスあるいは キーボードインターフェイスの場合でもそれぞれ日本語キーボードタイプにスキャナーを合わせこむ必要があります。それはメニューバーコードを読ませるだけです。一連の設定メニューを巻末に示しますので参考にしてください。

USB インターフェイスの設定



スキャナーを接続できる USB 対応のホストは次のとおりです。

- デスクトップ PC 及びノートブック
- Apple iMAC, G4, iBooks (US のみ)
- IBM PuperPOS 端末

USB 接続のスキャナーをサポートする OS は次のとおりです。

- Windows 98, 2000, ME, XP
- Mac OS 8.5 以上
- IBM 4680 OS

スキャナーは USB ヒューマンインターフェイスデバイス (HID) をサポートする、他の USB にも接続できます。USB 技術、ホスト、および周辺技術に関する詳細は、www.symbol.com/usb を参照下さい。

スキャナーを接続するには次のステップを実行してください。

1. インターフェイスケーブルをスキャナーおよびホストに接続します。
2. Windows 環境に最初にインストールするときにはウィザードが起動し HID ドライバーをインストールするように求められた際は、全ての画面で「次に」をクリックして最後に「完了」をクリックするだけです。スキャナーの電源はこのインストール中に入ります。

キーボードインターフェイスの接続

詳細は、日本シンボルテクノロジーのオリジナルマニュアルを参照下さい。

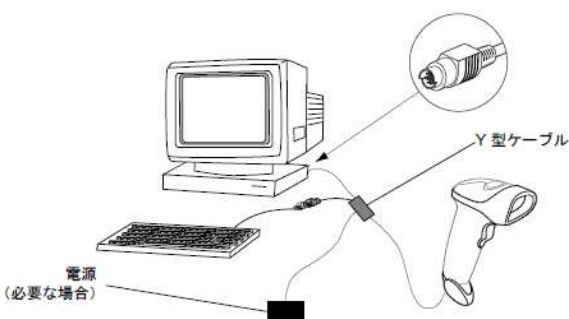


図 5-1. Y 型ケーブルによるキーボードインターフェイス接続

トラブルシューティング

スキャナーの推奨する保守作業、トラブルシューティング技術的な仕様等について記載します。

保守作業

必要な保守作業は、読取ウィンドウの定期的なクリーニングだけです。ウィンドウが汚れていると、スキャン制度に影響する場合があります。

- ・ウィンドウのクリーニングは研磨剤を使用しないで下さい。
- ・湿らせた布でホコリや汚れを取り除いてください。
- ・アンモニアや水で湿らせたティッシュペーパーでウィンドウを吹いてください。
- ・水やその他の液体を直接ウィンドウに吹きかけないでください。

トラブルシューティング

現象	主な原因	点検
手順どおりに操作しても全く反応が無い。またはスキャナーが不規則な動作をする。(レーザーが照射されず、ビープ音が頻りに鳴る)	スキャナーに電源が供給されていない。 インターフェイスケーブルが正しく接続されていない。	システムの電源をチェックしてください。外部電源が必要な場合は、電源が接続されているかを確認してください。 ケーブルの接続が緩んでいないか調べてください。
レーザーは照射されているが、シンボルが読取れない。	正しいバーコードがプログラミングされていない。 バーコードが読取れない。 スキャナーとの距離が適切でない。	スキャンしようとしているバーコードのタイプを読取れるようプログラミングされているか確認してください。 バーコードに汚れやキズが無いかを調べてください。同じタイプのサンプルでスキャンテストを行ってください。 スキャナーをバーコードに近づけるか離してみてください。
シンボルは読取れるが、ホストに転送されない。	正しいホストタイプがプログラミングされていない。	ホストタイプを選択してください。初期値は未選択になっています。
スキャンされたデータがホスト上で正しく表示されない。	スキャナーがホストと協調して動作するようプログラミングされていない。スキャナーのホストタイプのパラメータや変換オプションを確認してください。	適切なホストが選択されているかを確認してください。USB HID の場合は、正しいキーボードタイプがプログラミングされていること、CapsLock キーの状態が正しいことを確認してください。変換オプションが適切にプログラミングされているかを確認してください。

保守体制と保守契約

無償保証期間：納入後3年間です。

無償保証対象外とは
保証期間内でも下記条件に当てはまるものがある場合には、保証対象外とさせていただきます。
■お買い上げ後の輸送時の落下、お取り扱いが適切でないために生じた故障及び損傷（部品破壊・筐体破壊）。
■誤った使用方法、操作による故障及び損傷（部品破壊・筐体破壊）。
■お客様による分解、調整、改造等による故障及び損傷。
■地震、火災、水害、落雷等の災害及び天災地変による故障及び損傷。
■弊社リペアセンターにてチェックした上で不具合の症状が再現されない場合。消耗品（ケーブル、ACアダプタ、スタンド、バッテリー）の交換。

保守契約を結ばない場合、スポットでの修理対応となります
修理の流れ
・現品お預かり時
有償/無償の判断を行い、無償の場合そのまま修理に取り掛かります。

・修理御見積時
修理費用をご提示します。金額を判断して頂き、修理を行うかどうか判断して頂きます。修理しない場合や故障が再現しない場合は、別途調査費用が掛かります。ご了承下さい
・修理完了時
設定が初期値になっている場合がございます。ご了承下さい。

全体の納期目安は約2～3週間ぐらいとなります
故障状況等により前後致します

USB 接続の場合のメニュー設定

下記のバーコードメニューをスキャナーに読み込ませてください。

キーボードウェッジの場合のメニュー設定